

海の生き物観察講座

～磯の生き物編～

開催しました！



- 日時 令和2年6月20日（土）16：00～18：00
- 会場 高松市 浦生公民館及び浦生海岸
- 講師 かがわ里海大学磯の生き物観察力向上講座修了生 谷 光承 氏

6月20日（土）に、高松市の浦生公民館及び浦生海岸で、「海の生き物観察講座～磯の生き物編～」を開催しました。初めに浦生公民館にて、磯の生き物の観察のやり方について講師より解説がありました。



まず、「磯にはどんな生き物がいるか？」について説明がありました。また、当日の潮回りは満ち引きが最大になる「大潮」、月齢は「新月」で、磯観察には非常に適しており、潮間帯に沿って観察できる主な生き物の解説がありました。さらに、磯に生息する生き物の種類でその場所の水質や生物環境の豊かさ（＝生物量の多さ）がわかるチェックシートを用いた観察手法や、磯で観察する際の注意事項の説明があり、子どもたちも積極的に質問していました。

説明のあとは、講師と共に、3グループに分かれて、磯へと移動しました。

「カメノテ」、「マツバガイ」、「ウノアシガイ」、「オオヘビガイ」、「タテジマイソギンチャク」などが事前説明で紹介されましたが、それ以外に「アメフラシ」なども採集出来ました。採集した生き物は、透明な容器に移して写真を撮ったり、チェックシートにその生き物がのっているかどうか確認しながら、シートにチェックしていきました。今回の観察結果では、海の水質は“きれいな海”で、生物環境は“大変豊か”であることがわかりました（採集した生き物は観察が終わったら海に返しました。）。

夕方でもかなり暑い中での講座となりましたが、普段できない体験に、子どもたちは時間を忘れて観察に夢中になっていました。

最後は公民館に戻り、全員で講座の振り返りをしました。「同じ海岸でも場所によって生き物の数が違う事がわかった。」、「思っていたより多くの生き物が生息しており、びっくりした」などの声が上がりました。

